

令和4年度 第3回中津江グループホームなごみ運営推進会議議事録

実施日時	令和4年9月22日(木) 14:00~15:10	
場所	中津江1区公会堂	
出席者	別紙参照	
前回からの継続課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無 ・ ㊦ 	
	<p>内容： ・ 職員の健康面や精神面でのケアについて</p> <p>・ クラスター発生した場合の療養について</p>	
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム（以下 GH）管理者より挨拶。 <p>第2回運営推進会議はコロナ感染拡大にて中止とした。萩市においては現在も感染者数が高止りの状態にあるが、感染症対策や日常の様子について報告するのでご意見いただきたい。</p> <p>9月は世界アルツハイマー月間となっており、なごみでは認知症シンボルカラーであるオレンジを身に着けて業務を行っている。地域に向けて、認知症への啓発になればと考えている。</p>	
近況について	利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH管理者より、令和4年8月～令和4年9月の利用状況（利用者の平均年齢、平均要介護度、入退所状況等）を説明する。
	活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH介護主任兼計画作成担当者より、広報誌なごみ便り（第137号/R4.8月、第138号/R4.9月）を紹介する。 <p>GH夏祭りでは家族交流行事として7家族21名のオンライン参加あり、炭坑節やビンゴゲームを一緒に楽しまれた。地域行事への参加として、田町七夕祭りへ作品出展する。環境にも配慮し、不要となったペットボトルラベルや牛乳パックや紙を材料に使用し『花火』と『地球儀』を作成、副市長賞をいただいた。また、9月は認知症月間でオレンジをモチーフに広報誌を作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GH管理者より、令和4年8月及び令和4年9月の事故報告と対策について説明する。 ・ GH介護主任兼計画作成担当者より、身体拘束をしないケアの取り組みについて、現場での取り組み内容を説明する。 ・ GH管理者より、感染症対策と面会制限について説明する。 <p>基本的な感染対策として、手洗いとうがい、手指消毒、換気、健康観察を継続し、外出時にはマスク着用としている。7/19以降は直接の面会は中止し、ベランダ越しにオンラインでの面会としている。</p>

評 価	家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の夏祭りではオンラインで参加する家族の方が多かったように思う。季節感が感じられるように浴衣を着用するなど工夫もあり、大変ありがたい。 (利用者家族) ・ 誤薬での服薬事故について、状況説明と誤薬後の状態、係りつけ医への報告内容等をすぐに連絡もらったので安心できた。 (利用者家族) →服薬事故に関しては、職員側で防ぐことが可能な事故内容なので、同じような事故が起こらないように職員間で確認をしっかりと行いながら対応する。 (GH 管理者) ・ 離設事故について、玄関に鍵を掛けて対応している施設もあるようだが、鍵を掛けたら、今回のような事故が防げるのではないのでしょうか。 (利用者家族) →高齢者施設では、一定の条件を除き身体拘束をしてはならないとされている。玄関施錠は身体拘束に当てはまらないとは思われるが、鍵を掛けて利用者の生活が窮屈なものにならないようにしている。利用者の症状や思いに対して、鍵を掛けるのではなく、職員側の対応や物理的にセンサーチャイムを用いることで対応できればと考えている。この度は、1階 DS 職員にも協力してもらい、利用者を複数人で見守れる体制を整えている。本来は地域住民の方にも見守り含め、関わりを持ってもらいたい。コロナ収束後には、地域住民との関わりをしっかりと持ちたいと考えている。 (GH 管理者)
	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・ なごみ便りを拝見し、個人の家では出来ないような関わりをしており素晴らしいと思う。離設事故に関して、身体拘束をしない取り組みの中で鍵を掛けることが難しいと思うので、センサーでの音だけでなく、ランプが付くような仕組みにして、聴覚と視覚でも確認できるようにしてみるのはどうだろうか。 (中津江 1 区町内会長) →今回の離設事故を受けて、センサーチャイムの増設を行なった。①GH 2 階玄関先と②階段踊り場から、①GH 2 階玄関先と②GH 1 階玄関と③なごみ 1 階事務所へ変更し、事務所で DS 職員にも協力してもらおう形とした。帰りたいとの思いが強い利用者に対しては、今まで通り気分転換兼ねて個別で散歩に出掛けるなど対応していく。 (GH 管理者)

<p>評 価</p>	<p>地域住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的なことになるが先日身内の不幸があった。なごみのように高齢者を見てもらえるような施設があってありがたい。 (中津江県営住宅H棟管理者) ・ 事故報告の中で、服薬事故が2件あるが服薬ミスが無いように気を付けてもらいたい。 (理髪店みうら) →今回の服薬事故では、他利用者の内服薬を思い込みで服用させてしまった。改善策として、本人への確認の前に、他スタッフへ一度確認した上で服薬業務を行うとしている。 (GH 管理者)
	<p>市町村等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ なごみ便りを拝見し、夏祭りで利用者の方が浴衣を着て行うなど恵まれた環境だと思う。また、七夕ではSDGsを意識し使わなくなった物を使用するなどの工夫が素晴らしい。 離設事故では、同時時間帯に他利用者の外出支援を行うなど、限られた人数で対応しなければならないので対応が大変だとは思いますが、十分気を付けてもらいたい。 (萩市高齢者支援課) ・ 事故報告での対応について、理想論で終わらないように現場職員が現実的に可能な改善策を検討してもらいたい。また、少ない人数で多くの業務を行っているので、職員への負担も考えながら取り組んでももらいたい。 (萩市地域包括支援センター) →同じような事故が起こらない為に改善策を検討する上で、確認事項含め業務が増えているのが現状である。しかし、職員への負担も考えながら検討していきたいと思う。 (GH 管理者) ・ 以前、新聞でゴミ箱を折るボランティアとして関わったが要望があるようなでまた検討したいと思う。 (萩市社会福祉協議会) →感染状況が高止りしている状況なので、新聞や広告でゴミ箱作ってもらえるような間接的に関わられるボランティアは是非お願いしたい。 (GH 管理者)

<p>質 問 ・ 助 言 ・ 要 望 等</p>	<p>家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内でコロナ感染やクラスターが発生した場合、どのように対応するのでしょうか。なごみ内で療養するのでしょうか。 (利用者家族) →利用者からの罹患が確認された場合、保健所の実態把握により医療機関での入院治療が必要な状況を除き、軽症の罹患者については施設内での療養となる。クラスターとなった場合には、県クラスター班や認定看護師による感染対策やゾーニング指導が行われる。 菟市では以前高い推移での感染者が確認されている為、感染を抑え込むための対策について検討している。 (菟市高齢者支援課) ・ 今後、5回目のワクチン接種は考えられるのでしょうか。 (利用者家族) →9/19 現在、60歳以上の4回目ワクチン接種終了者が61.97%となっている。10月以降、オミクロン株対応の2価ワクチンが開始となる。重症化や後遺症軽減の為にはワクチン接種したほうが良いと言われている。感染拡大の波が夏・冬と2回来ていることから、今後年2回のワクチン接種となる可能性もあるが、現時点では5回目接種も検討されている。インフルエンザとの同時接種についても可能となっている。 (菟市高齢者支援課)
	<p>次回会議までの 継続課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし
	<p>備 考</p>	<p>次回：令和4年11月24日（木）14:00 開催予定 開催場所：中津江1区公会堂 ※新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、GH なごみ室内での会議開催は難しい状況にて、中津江1区公会堂をお借りすることとなる。</p>